

平成 25 年 5 月 22 日

お客様各位

株式会社 山喜農園  
新潟県魚沼市原 1280-1  
TEL. 025-794-2455  
FAX. 025-794-4168  
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp  
HP Address. http://www.yamaki-noen.co.jp

## 球根情勢報告

(このレポートはオランダ出張前の 5 月 22 日に作成しました。)

### 12/13 年産オランダ産百合球根について

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

新潟県魚沼地方も連休頃にはようやく雪も消え、その後の天候も良く、順調なスタートを切った様です。

昨年秋に完成した弊社試験栽培温室においては、956 ロットの百合が、近年では最も順調に成育中です。

昨年までは 5 月上中旬に温室から露地ハウスに移動しておりましたが、本年より最終開花まで温室内にて栽培を行います。

最も敏感な生育ステージに極端な温度変化を与えていたものが、今回からはその影響を受けません。従って、**例年より約 1 週間ほど開花が早まる様です。**(オープンディスプレイもご確認ください。)

12 年産オランダ産球根につきましては、切花生産現場において既にお気づきの事と思いますが、前半戦の作型(球根出庫期 12~4 月)はすこぶる順調に推移している様に感じています。

新潟県平野部山間地における養成球定植初期生育も、順調そうに見えます。(5~7 月出庫期についても期待して良さそう?)

茎の太さ・輪付きの良さは確認できていますが、『やや葉枚数が少ない』という感触を持っています。(球根が若い?)

夏場の草丈管理にはご注意ください。(8 月以降出庫作型についてはまだコメントしません。)

コンディション別の生育差が際立っています。ぜひ当社試験栽培にてご確認ください。

昨年 4 月以来、本年 3 月末まで、気象要因により品薄となった 11/12 月以外の月は、本当に厳しい切花販売状況が続いている様です。(本年 4 月 10 日~5 月 10 日はまずまず?)

個人消費の回復にはまだ至っていないかもしれませんが、ユーロ/ドル/韓国ウォン等の為替レートは、リーマンショック前後の為替水準に向かっている様です。(良い?悪い?)

ユーロの過去 20 年間平均レートは、¥133.0-

ドルが¥100-を割れていたのは、1986 年~2009 年までの間に通算 3 年以上無い。(その後リーマンショック以降は…。)

韓国ウォンの最近のレートは、¥95.0-前後。100~110.0 円/1000 ウォンが普通相場。(昨年は 65.0 円という円高だった。)

円安になれば原材料の価格は一般的に上昇します。従って球根価格も上昇します。(パッと見、高価すぎる印象です。イメージとしては、2005~2007 年産くらいの球根価格。)

輸入切花も花屋さんにとっては原材料ですから、やはり輸入量は減少する可能性が出てきているわけです。(高くとも売れる花なら良いのでしょうか…。)

『母の日』前に『クラシック=切花輸入会社最大手』の社長さんが TV のインタビューを受けて話してましたよね!

原材料の価格が上昇してもすぐに切花価格に反映されるものではないとは思いますが、なんでも過剰なデフレ状態からバランスのとれた流通に戻ることを期待します。

12年産南半球産の球根輸入量は前年とほとんど変わらなかったのに、採花率が向上し、800,000～1,200,000本くらい国産切花生産出荷量が伸びていた様です。

『言い訳のきかない安さ』が今年の1～3月の切花相場だったと思います。(中国地方のある市場の方のコメント。)

この事により切花個人消費市場は必ずしも望まない方向に向かっていく懸念が出てきてしまっている様です。

ぜひ新潟にお越しください！『花の話』をいたしましょう！

今回お繋ぎする『13年産オランダ産百合価格表』は、タイトルに『**価格表**』となっておりますが、『**正式価格見積表**』だと思わないでください。

**あくまでも傾向を示す指標程度にお考えください。**

最近の為替レートである**¥132-**(銀行間取引レート=TTM、輸入業社使用レート=TTS)と、将来の円安を予想し**¥135-**で計算してみました。(まだ円高の可能性もあります。)

オランダの球根相場(当社仕入価格)が記載されておりますが、**これもまた流動的です。**

**球根相場はどちらに動くか分かりません。**

今日現在約15,900,000球の発注契約を行い、お客様に対しては、価格表/情報提供前にもかかわらず約13,000,000球の予約注文を頂いております。大変ありがとうございます。(現時点ではその大半が鉄砲百合/O.H/O.Tです。)

7月いっぱい以前年比、約70～80%の受発注を目指して仕入を進めていきたいと考えておりますが、どこまで進められるかまだ目途が立ちません。

O.H系の安い球根は、昨年同様、また昨年以上にPlamvが心配です。慎重な仕入に勤めます(ところでアレ…どうする!?)

O.H系の18/20サイズ仕入価格350Euro以上の球根、新品種/準新品種の供給可能数は、大幅に増加している様です。

そしてこれらの価格帯の球根は、Plamvリスクが、昨年比で随分改善されている様子です。

いよいよ品種更新が大きく進むかもしれません。

A.H/L.Aは、苦戦中です。球根が高価すぎて買えません。(価格を下げさせ過ぎれば、日本向けの品種生産が無くなる…。O.H系淡いピンクの価格は安すぎませんか?)

当社取扱いA.H/L.A球根の約50%が埼玉県深谷地区の切花農家の方々ですが、現在次年度の作付計画をどのように組み立てていくか、農協切花販売担当・生産者代表とともに協議を重ねているところです。

難しいけれど面白い仕事だなあとと思います。

本日からオランダ出張してきます。

6月10日頃から試験栽培開花予定です。

6月は、様々なエリアへの出張を予定しています。お会いする事もあろうかと思っております。よろしくお祈り致します。

詳細はお問い合わせください。

森山 隆



<http://www.lily-promotion.jp/>  
私共はLPJの趣旨に賛同し  
協力・応援しています